



【重点目標】めざす生徒の姿

- ・学ぶ楽しさを「自ら学ぶ力」につなげ、目標を立てて学習に取り組む生徒
- ・日宇中PRIDEを自覚し、やるべきことに、我慢強く、最後まで取り組む生徒
- ・みんながリーダー・みんながフォロワーとしてより良い学校・学級づくりに取り組む生徒
- ・自らの進化・成長に向け、「いのち」を輝かせて諸活動に取り組む生徒

○日宇中ホームページアドレス

<http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-hiu/>

携帯・スマホの利用状況について

10月末に長崎県教育委員会から「携帯・スマホの利用状況について」の調査がありました。本校の集約結果は以下のとおりです。

【携帯電話・スマートフォンの所持率】

学 年	中1	中2	中3	全体
所持率 (%)	82.6	91.8	91.4	88.5

【フィルタリング・ペアレンタルコントロールの利用】

「ペアレンタルコントロール」とは「親としての管理」ということです。自分が持つスマートフォンの利用方法を、保護者が管理する機能をいいます。例えば、利用時間の制限、自分にとって不適切なサイトや動画の閲覧制限、アプリのダウンロード制限といったことを、保護者のスマートフォンで設定することができることです。

学 年	中1	中2	中3	全体
両方利用 (%)	23.8	7.1	14.4	14.7
フィルタリングのみ (%)	15.0	23.1	5.0	14.9
ペアレンタルコントロールのみ (%)	8.2	5.3	7.9	7.0
未利用 (%)	38.1	37.9	42.4	39.3
利用しているか分からない (%)	15.0	26.6	30.2	24.0

【インターネットやメールの利用】

学 年	中1	中2	中3	全体
利用率 (%)	98.6	99.4	99.3	99.1

【SNS（LINE等）の利用】

学 年	中1	中2	中3	全体
利用率 (%)	93.2	98.8	98.6	96.9

【携帯電話やスマートフォンを利用している時間】

時間・学年	中1	中2	中3	全体
30分未満	2.7	4.7	7.2	4.8
30分～1時間	9.6	12.0	5.9	9.3
1時間～2時間	34.0	17.2	25.2	25.1
2時間～3時間	22.4	30.2	31.7	28.1
3時間以上	29.3	34.9	29.5	31.4

日宇中生徒の携帯電話・スマートフォンの所持率は88.5%であるなど、高い所持率を示しています。

次に、フィルタリングやペアレンタルコントロールの利用については、未利用が39.3%、利用しているか分からないが24.0%であることから、「使い過ぎへの制限」や「有害なサイトや動画をシャットアウト」するためにもフィルタリングやペアレンタルコントロールの設定、モニタリング（点検）をお願いします。

携帯電話やスマートフォンの利用時間については3時間以上が全体の31.4%と最も多く、また2時間～3時間も28.1%と高い値を示しており、「生活習慣への影響」「メディア依存」が気になります。

次に、携帯電話・スマートフォンを使用して嫌なことと危ないことの経験についての問いでは、以下のようなことが挙がっていました。

項 目	件数
・チェーンメールを送られた	85件
・自分の個人情報や写真を無断で流された。	10件
・インターネットの掲示板やメール、LINE等での悪口を書かれた	6件
・心当たりのない利用料金請求を受けた	2件
・SNS（LINE等）での仲間はずし	1件
・他人からの迷惑メールが送られたり、つきまとわれた	1件
・スマートフォンゲーム中に事故やトラブルにあった（あいさうになった）	1件

個人情報の流失、誹謗中傷等、SNSの危険やトラブルが日宇中生徒たちにも起こっています。学校においてもSNSの利用について指導をしておりますが、子どもたちを「SNSの被害者にも、加害者にもさせない」「子どもの健全な生活を守る」ために、携帯電話・スマートフォンの使用及び管理について、家庭からのご指導をお願いします。

【こんな子どものサインに気をつけて！】

- ・スマホや携帯をいつも気にしている。
- ・学校や友達の話が減った。
- ・睡眠不足から変にイライラしたり、ボーっとしている。
- ・学校を遅刻・早退したり、休むことがある。
- ・常にスマホや携帯を手放さない。

1年歯科講話から

11月16日（木）3校時、1年生を対象に「歯科講話」を実施しました。講師として、学校歯科医の外尾健先生にご来校いただき、「虫歯と歯肉炎」と題して、話をいただきました。

講話では、虫歯予防のためのブラッシングの仕方や虫歯になりやすい食品、フッ化洗口の効果、歯肉炎の予防等、説明していただきました。その中で、「一生、自分の歯で食べよう」「病気の歯に投資するよりも、健康な歯に投資しよう」などの言葉があり、生徒たちも改めて「歯の大切さ（予防の大切さ）」について考えるよい機会になったと思います。

